



発行) 宗像市議会議員 岡本 陽子

自宅 福岡県宗像市自由ヶ丘 7-6-1

TEL/FAX (0940)25-5344

ホームページ <http://www.okamoto-youko.jp/>

メール [info@okamoto-youko.jp](mailto:info@okamoto-youko.jp)

ご意見・ご要望はホームページからも投稿できます。

何でもお気軽にご相談ください。

平成26年

3月議会



守りたい あなたの生命生活を

## 一般質問

### 質問1 《健診受診者に即した健診内容の検討を》

本市市民に即した健診内容や推奨方法について、新たな発想や検討が必要な時期を迎えているのではないかと執行部の考えを聞きました。①健診率が向上しない理由②がん検診に関して胃がん・子宮がんの早期発見という効果が高い胃がんリスク検査、HPV検査の目標と成果④大腸がん、子宮がん、乳がんの無料クーポン使用率向上に関する対応⑤脳血管疾患、認知症早期発見のための節目健診の脳ドッグ導入に対する考え等について質問。子宮頸がん、乳がんの健診率の低さに対して女性医師の導入や無料検査キットの使用を提案、無料クーポンに関しては、国が予算計上し、推奨しているコール・リコール(未受診者の再受診の推奨)を実施して健診率の向上を目指すとの答弁を得た。胃がんリスク検査(図1参照)、HPV(子宮頸がんの発症原因と言われているヒトパピローマウイルス)検査を昨年より導入していることに関しては、評価するものの、その利用率は低い為、それらの検査の効果について市民に周知してもよいのではないかと言及した。また、脳血管疾患の低年齢化、認知症の早期発見のために脳ドッグ導入について質問したが、この検査が高額であるためその導入、とくに受診者全員に対しての導入、助成制度の活用は困難であるとの答弁を得た。健診率の目標は、国の目標(65%)であり、本市の受診者背景を考えた上で市独自の目標設定が必要ではないかを質問した。

#### 《バリウム検査》

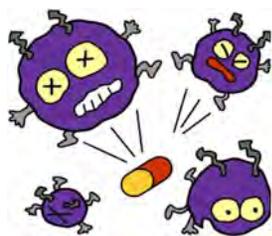


公的健診のバリウム検査(620万人)

胃がん発見率 0.1%

胃がん発生数11万人のうち、10万5千人は胃内視鏡で見つっている。

#### 《胃がんリスク検査》血液検査(ピロリ菌に対する抗体検査・胃粘膜萎縮を調べるペプシゲン検査)



ピロリ菌保菌者が治療対象 胃内視鏡にてがんがないことを確認 ピロリ菌除菌(保険適用)

(図1)

呉共済病院の上村氏らによってピロリ菌陽性、陰性患者を8年間経過観察。陰性患者から胃がんは1例も発見されなかったが、陽性患者からは2.9%の胃がんが発見。胃がんとピロリ菌の関連性は実証されている。胃がんだけでなく胃潰瘍などのピロリ菌関連疾患も抑制できる。胃がん予防のためもっと胃がんリスク検査の有効性を訴えるべきでは。

### 質問2 《性同一性障害者の支援を》

性同一性障害者は心と体の性が一致せず、その理解が進んでいるとはいえ、診断や治療ができる病院も多くはない。本市においても、理解を深めるための知識や考えを持ち、支援ができる環境を整えることが必要性について言及した。支援するための各機関との連携、行政文書の不必要な性別表記の削除に関して調査研究しその方策を検討するとの答弁を得た。

#### ◆微粒子状物質(PM2.5)に係る総合的な対策の推進を求める意見書案提出(岡本市議)しました◆

平成21年1月以降、中国において深刻なPM2.5による大気汚染が発生し、本市においても、環境省が示す環境基準をもとに、IT、メディア等を使っての注意喚起に関する発令を行うなどの対策は取られているが、身体への影響(特に呼吸器、心臓疾患)について不安を訴える人は少なくない。PM2.5による大気汚染に関して、発生抑制対策、身体に与える影響の解明などの包括的な対応を求めるため、意見書案を提出。全会一致で採択された。



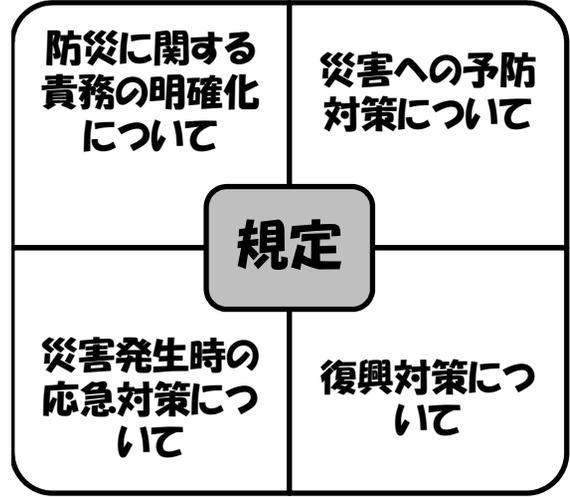


### 宗像市防災対策基本条例の制定されました。

#### 【概要】以下の4項目を条例としてまとめました。

- ①市の地域防災計画に記載されていること
- ②防災対策に取り組む中でこれまで実施してきたこと
- ③市民へ広報啓発している内容
- ④平成25年6月の災害対策基本法の一部改正により、市が新たに取る必要があるもの

平成26年4月1日施行予定



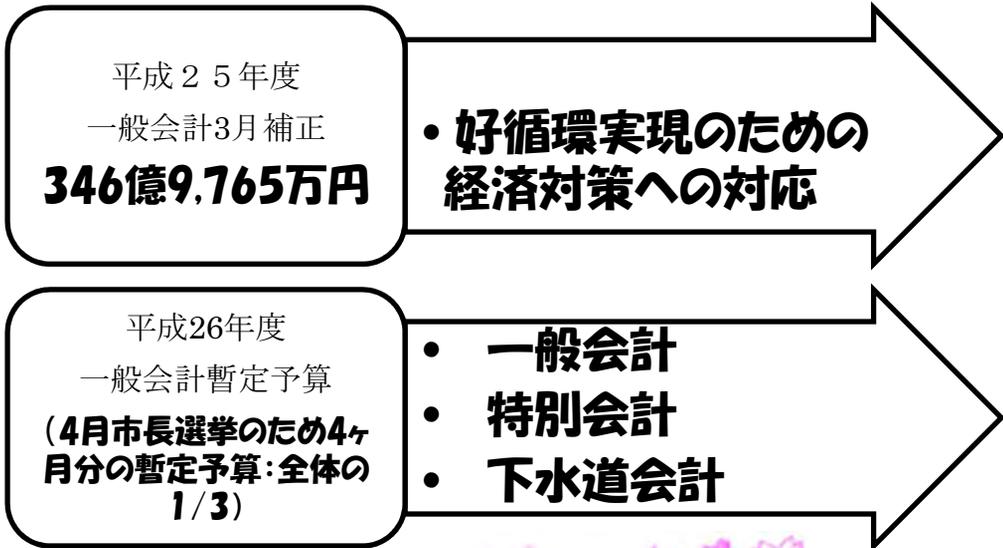
#### 【基本理念】

自助・共助・公助の考え方に基づき、市、市民及び事業者がそれぞれの責任と役割を果たし相互に連携して取り組むこと。

#### 【現在の状況と今後の取り組み 4項目】

- 《避難行動要支援者の支援》現在、1,333人を災害時要援護者支援台帳に載せている。災害発生時に本人の同意がなくても名簿の外部提供を行うが、スムーズに関係機関に提供できるよう運用方法を定める。
- 《自主防災組織》今年度末で93%の自治会で結成予定。今後は、活動の充実に重点をおいて取り組む。
- 《新たな取り組み》これまでの取り組みで、避難所の備蓄等、ハード整備や市民の自助・共助部分はできつつある。事業者の自助・共助・帰宅困難者対策については、今後具体的な取り組みを進めていくとしている。
- 《市民等への周知》広報紙、コミュニティ運営協議会役員会、自治会長会等の会議。事業者への周知も商工会等と協議して効果的な周知方法を実施する予定。

### 税金の使いみち



- 国の経済対策に関連する事業費を計上、平成26年度に全額を繰り越して実施するもの
- ①防災情報ステーション等整備事業費 3,133万円
  - ②漁港整備事業費：8,000万円
  - ③小学校施設改修事業費：6億6,854万円
  - ④中学校施設改修事業費：1億9,077万円

- 1 アセットマネジメント（公共施設の管理）策定事業費：750万円
- 2 離島体験交流施設整備事業費（地島）：1億748万円
- 3 市長選挙費：2,678万円
- 4 市議会議員選挙費（定数1の補欠選挙）：466万円
- 5 臨時福祉給付金給付事業費：2億9,052万円
- 6 子育て世帯臨時特例給付金給付事業費：1億1,320万円
- 7 旧玄海小学校跡地運動広場工事費：6,000万円

### 次期宗像市長選挙で谷井ひろみ・現市長を推薦



熊本大学卒業後、福岡県職員、宗像市助役5年、市長8年と行政経験豊富であり公明党とも良好な関係。公明党は推薦を決定致しました。

告示 = 4月13日（日）  
投票 = 4月20日（日）

### 3月定例会の議会報告会のご案内

市民の皆様のご意見を聞きたいと考えています。  
是非ご参加下さい。

日時：4月2日（水）  
19:30～  
会場：宗像ユリックス  
会議室1・2  
報告者：石松議員・岡本議員



### **風疹に関する情報**（福岡市、鞍手町で助成開始）

風疹大流行によって福岡県では7月7日までに250人の患者8人の先天性風疹症候群の患者が発生している状況です。妊婦とくに、妊娠初期の女性が風疹にかかると、胎児が風疹ウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、そして精神や身体の発達の遅れ等の障がいをもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。これらの障がいを「先天性風しん症候群」といいます。福岡市、鞍手郡では風疹予防接種に関する助成を始めました。宗像市では感染者の報告はありま